

第3学年 国語科学習指導案

児童 3年 男子1名 女子2名 計3名

指導者 佐藤 勤

本単元における「読むこと」の指導内容

目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりして読むこと（オ）

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物がかせになろう」

2 単元について

(1) 児童の実態

子どもたちは、これまでに読むことの学習として、2年「たんぼのちえ」では時間的順序の文章、「サンゴの海の生きものたち」では解説型の文章、3年「ありの行列」では解説 検証型の文章にふれ、段落等に注意しながら文章を読み取る学習をしてきた。「ありの行列」では、段落という概念を学び、段落の中で重要語句に目を向け、要点をまとめることも学習してきた。また、はじめ 中 終わりという文章構成を確かめながら、意味段落ごとのまとまりを考え、小見出しをつける学習もしてきた。

一人学びでは、「ありの行列」において、言葉の意味を確かめながら形式段落ごとに重要語句にサイドラインを引き、要点としてまとめる活動を行っている。

日常活動では、家庭での音読練習、毎週月曜日の朝学習での音読練習に取り組んでいる。初めて触れる文章ではひろい読みであったり、叙述どおりに読めなかったりするため、指で文字を確認しながら読むようにしたり、互いに聞き合うことで確かめ合ったりしてきている。また、毎日の朝の会では、スピーチに取り組んでいる。話す題材について、はじめ 中 終わりの文章構成を意識しながら、話す内容を決めるように取り組んでいる。

これらの学習や活動を通して、段落ごとに重要語句に注意しながら文章を読み取ることができるようになってきている。また、「問いかけはどこか。」「筆者の考えやまとめはどこか。」を考えることで、はじめ 中 終わりといった文章全体の構成を考えることができるようになってきている。

(2) 教材について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

本単元は、説明的文章教材を段落や重要語句に注意しながら読み取る学習と、教材文の内容を参考に、自分で調べたいものを選んで、それに関する情報を集めて文章にまとめる学習から構成されている。

教材「すがたをかえる大豆」は、納豆や醤油や豆腐などの身近な食べ物が、どれも大豆という同じ植物の種から作られているという子どもにとって意外な事実が述べられており、かたくてそのままでは食べにくく、消化もよくない大豆がいろいろと手をくわえられておいしく食べられる工夫が説明されている教材である。「はじめ」に話題提示がされ、「中」では、「次に」「また」などの接続語を使いながら「いろいろ手をくわえておいしく食べるくふう」が書かれ、「終わり」に「このように」という接続語でまとめや筆者の考えが書かれているため、非常にわかりやすい文章構成となっている。また、「中」の各段落をみても「おいしく食べるくふう」が書かれた後で、その作り方が詳しく書かれているわかりやすい文章となっている。

これらの接続語や「くふう」などの重要語句を手がかりに気をつけながら読む活動をすることで、確かな読みを育成することができると思う。

(3) 指導に当たって

本単元では、指導要領「読むこと」の(オ)《目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりして読む》力を育成するために、次のことに気をつけて指導していきたい。

子ども達が読む目的意識や必要感をもつために、自己の食生活を振り返り、関心をもたせるとともに、常に題名のもつ意味や話題提示されていた事柄に立ち返ったり、後に自分が興味をもった身近な食物について図書館を活用しながら調べ学習を行い、情報発信をしたりしていくことを意識させて学習を進めていきたい。また、予め大まかな文章構成をつかむとともに、形式段落ごとに中心文を見つけ、叙述に即してしっかりと内容を読み取らせる。

接続語や文末表現、「くふう」等の既習事項を手がかりになる語句として着目しながら、大豆がすがたをかえてどのような食品になったのか、また、そのためにどのような手をくわえて工夫をしたのかをとらえさせる。

「一人学び」においては、各段落ごとに大豆をおいしく食べる工夫について、手がかりになる語句から重要語句を見つけて要点を読み取らせる。

第4学年 国語科学習指導案

児童 4年 男子2名 女子4名 計6名

指導者 佐藤 勤

本単元における「読むこと」の指導内容

目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりして読むこと（オ）

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう
教材名 「アップとルーズで伝える」「四年三組から発信します」

2 単元について

(1) 児童の実態

子どもたちは、これまでに読むことの学習として、第3学年において「段落」の存在を知り、一つの段落に一つの事柄が書かれていることを知った。「ありの行列」では、時間(実験・研究の過程)をおって段落が並べられた文章、「動物とくらす」では、話題提示の後、動物たちが人間を元気にする力があることを二つの例示を並列な段落として並べられている文章にふれ、読む学習をしてきた。さらに、第4学年においては、『「かむ」ことの力』において、「初め」「中」「終わり」という典型的な説明的文章の文章構成を学び、一つ一つの段落が一定のまとまりをもちつつ、それらが幾つか集まってさらに大きなまとまりを作るといった段落相互のつながりについても学習してきている。

一人学びでは、『「かむ」ことの力』において、言葉の意味を確かめながら形式段落ごとに重要語句にサイドラインを引き、要点としてまとめる活動を行っている。

日常活動では、家庭での音読練習、毎週月曜日の朝学習での音読練習に取り組んでいる。時と場に応じた声の大きさを考えることについては、さらに指導が必要であるが、漢字の読みに関してはどの児童も関心が高く、どの子もすすんで練習し読めるようになるまでに時間がかからなくなってきている。また、毎日の朝の会では、スピーチに取り組んでいる。話す題材について、はじめ 中 終わりの文章構成を意識しながら、話す内容を決めるように取り組んでいる。

これらの学習や活動を通して、段落ごとに重要語句に注意しながら文章を読み取ることができるようになってきている。また、「問いかげはどこか。」「筆者の考えやまとめはどこか。」を考えることで、はじめ 中 終わりといった文章全体の構成を考えることができるようになってきている。

(2) 教材について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

本単元は、まず「アップとルーズで伝える」で、テレビや新聞などを通して届けられる映像や写真が、送り手の目的や意図によって取舍選択されたものであることを考えさせ、その上で、「四年三組から発信します」では、自らが情報発信者となり、情報の収集、選択、発信を体験させることになる。

第1教材「アップとルーズで伝える」は、身近なメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものであり、児童にとって親しみやすく、実際に確かめることも容易である。アップとルーズについて、サッカーの試合の放送を例に挙げ、対照的に分かりやすく述べられている。「初め」に「アップ」と「ルーズ」の意味を説明しながら、「どんなちがいがいるのでしょうか。」と問題提示をし、「中」では、それぞれの伝えられることと伝えられないことについて段落ごとに書き、「このように」とまとめている。また、「終わり」には、写真の場合も例に挙げながら筆者の考えをまとめている。

写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成をとらえたり、重要語句を見つけながら段落ごとの要約をしたりして読む活動をすることで、確かな読みを育成することができると思われる。

(3) 指導に当たって

本単元では、指導要領「読むこと」の(オ)《目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりして読む》力を育成するために、次のことに気をつけて指導していきたい。

子ども達が読む目的意識や必要感をもつために、題名や問題提示文に立ち返るとともに、後に自分が興味をもった材料について、図書館を活用しながら調べ学習を行い、情報発信をしていくことを意識させて学習を進めていきたい。また、形式段落ごとに叙述に即して内容を読み取り、中心文を見つけて要約したり、意味段落ごとに小見出しをつけて文章構造図を作成しながら文章構成をつかませたい。

接続語や文末表現等の既習事項に着目しながら、提示された問題に対する答えを長所と短所という視点からとらえさせる。

「一人学び」においては、中心文を見つけたり、重要語句を見つけながらそれらを要約したりすることで要点を読み取らせる。

3 単元の目標及び指導計画

第3学年 大事なことをたしかめよう

「すがたをかえる大豆」(7時間) 「食べ物がかせになろう」(11時間)

《単元の目標》

- 【国語への関心・意欲・態度】・身近な食べ物である大豆についての知識を得るとともに、興味を広げようとする。
 ・本での調べ方を知り、身近な食べ物について関心をもって調べてまとめて、発信しようとする。
- 【書くこと】 書こうとすることの中心を明確にしながら、段落との続き方に注意して書くことができる。
- 【読むこと】 自分が知りたいことの答えとなる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、大豆を食べる工夫について正しく読み取ることができる。
 いろいろな読み物に興味をもち、読むことができる。
- 【言語についての知識・理解・技能】 国語辞典の使い方を知り、必要に応じて活用することができる。
 文章全体における段落の役割を理解することができる。

《単元の指導計画と評価規準》

段階	時	学習活動 重要語句の取り扱い方	一人学び		
				国語への関心・意欲・態度	
つかむ	1	全文を読んで、新出漢字の読みを確かめたり、大豆を使った食品に目を向けて関心をもったりしながら、学習計画を立てる。	大豆を使った食品について、知っていることや読んでわかったことを挙げる。	大豆を使った食品について興味をもち、見つけようとしている。	
	2	段落ごとの大体的内容から文章の構成をつかみ、話題提示された内容から学習課題をもつとともに、図書館を利用しながら自分も情報発信することを知る。	はじめ・中・終わりはそれぞれの段落が理由付けして考える。	文章構成を考えながら、何について書かれた文章か考えようとしている。	
ふかめる	3	第1・2段落から、大豆がいろいろな食品にすがたをかえていることや、なぜ、おいしく食べるくふうがされているのかを読み取る。 「かたい」「食べにくい」「消化によくない」に着目して、手を加えるわけを読み取る。	なぜ、大豆に手をくわえ、おいしく食べるくふうをするのか分かる文にサイドラインを引く。	大豆に、手をくわえるわけに興味をもち、見つけようとしている。	
	4	第3・4・5段落から、おいしく食べる工夫を読み取る。 「大豆を～くふう」「こな～くふう」「大豆～くふう」に着目して、おいしく食べる工夫を読み取る。	おいしく食べる工夫が書かれている文にサイドラインを引き、まとめる。	おいしく食べるくふうに興味をもち、見つけようとしている。	
	5 (本時)	第6・7段落から、小さな生物に力をかりてちがう食品にする工夫や取り入れ時期や育て方を工夫することを読み取る。 「目に見えない～くふう」「取り入れる～くふう」に着目して、おいしく食べる工夫を読み取る。	小さな生物に力をかりてちがう食品にする工夫や取り入れ時期や育て方を工夫することにサイドラインを引く。	おいしく食べるくふうに興味をもち、見つけようとしている。	
	6	第8・9段落から、文章のまとめや筆者の考えを読み取る。 「このように」「～から」「～ため」に着目して、まとめと筆者の考えを読み取る。	文章のまとめと筆者の考えにサイドラインを引く。	「すがたをかえる大豆」の中で筆者が言いたかったことに興味をもち、考えようとしている。	
めまと	7	段落ごとの要点を振り返り、文章の組み立てを確かめることで、「すがたをかえる大豆」の文章の書き方を考える。	段落ごとの要点をこれまでの学習プリントを見ながら振り返り、まとめる。	文章構成を考え、自分が調べたい食べ物についての文章に生かそうとしている。	
ひろげる	8	「食べ物がかせになろう」を読み、学習の見通しをもつ。	身近な食べ物についての本を作るために学習の流れをつかむ。	身のまわりの食べ物に興味をもとうとする。	
	9	理由を明確にしながら、調べたい食べ物を決める。	理由を書き出しながら、調べたい食べ物を決める。	身近な食べ物に興味をもち、調べたい食べ物を決めようとしている。	
	10	本での調べ方を知り、自分が決めたことについて調べて、情報カードにまとめる。	自分が調べた食べ物について情報カードにまとめる。	本での調べ方を知り、自分の調べ学習に生かそうとしている。	
	11	情報カードをもとに調べたことを整理して文章にまとめるとともに、自己評価したり・相互評価したりする。	情報カードを見ながら、文章にまとめる。	「すがたをかえる大豆」で学んだ文章構成を生かして文章を書こうとしている。	
	12	自己評価・相互評価をもとに推敲・清書して、互いの文章を読み合い、評価し合う。	互いの文章を読み合い、評価カードによさを書き込む。	互いの文章に関心をもち、よさを見つけようとしている。	
	13	14	15	16	17

《単元の評価規準》

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知・理・技
・身近な食べ物である大豆についての知識を得るとともに、興味を広げようとしている。 ・本での調べ方を知り、身近な食べ物について関心をもって調べてまとめて、発信しようとしている。	書こうとすることの中心を明確にしながら調べた内容を事柄ごとに段落に分けて書いている。	内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読んでいる。 いろいろな読み物に興味をもち、読んでいる。	国語辞典の使い方を知り、必要に応じて活用している。 文章全体における段落の役割を理解している。

評価規準			評価		
書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	N	K	I
	大豆を使った食品に注意しながら読んでいる。	意味の分からない言葉について、国語辞典を使って調べている。			
	はじめ・中・終わりの文章構成を接続語等に注目しながら考えている。	意味の分からない言葉について、国語辞典を使って調べている。			
	大豆がすがたをかえるわけを読み取っている。	意味の分からない言葉について、国語辞典を使って調べている。			
	やわらかくおいしくする、こなにひく、ちがう食品にするくふうを読み取っている。	意味の分からない言葉について、国語辞典を使って調べている。			
	小さな生物の力でちがう食品にしたり、取り入れ時期や育て方をくふうしたりすることを読み取っている。	意味の分からない言葉について、国語辞典を使って調べている。			
	接続語に着目してまとめの文を見つけたり、「～から」「～ため」に着目して理由を確かめ理由を確かめたりしている。				
	段落ごとの要点から、説明的文章の文章構成を確かめている。				
学習のすすめ方や身につけたい力について見通しをもっている。		文章構成を考え、事柄ごとに段落に分けて文章にまとめていくことをつかむ			
調べたい食べ物について理由を書き出している。					
書こうとする内容について、段落を意識しながら、情報カードに書き込んでいる。		情報カードに書かれている事柄がそれぞれ段落となることを理解する。			
文章構成を考えながら、書こうとする中心をはっきりさせて段落ごとに書いている。		はじめ・中・終わりの文章構成を確かめ、意味のまとまりごとに段落に分けることがわかる。			
書かれた文章を読み合い、そのよさに気づいている。		文章構成を確かめ、意味のまとまりごとに段落に分けることがわかる。			

3 単元の目標及び指導計画

第4学年 アップとルーズで伝える

「アップとルーズで伝える」(7時間) 「四年三組から発信します」(11時間)

《単元の目標》

【国語への関心・意欲・態度】・ 対比・まとめなど、段落相互の関心に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かそうとする。

・ 相手や目的に応じ、調べたことを読み手にわかりやすいように、工夫して書こうとする。

【書くこと】 伝えたいことが相手に分かるように、言葉や表現を考え、見出しを立てて書くことができる。

【読むこと】 写真と対応した部分に注意して読み取り、アップとルーズのそれぞれの特徴をまとめることができる。

目的に応じて、調べるためにさまざまな本を読むことができる。

【言語についての知識・理解・技能】 文章全体の中で、それぞれの段落の役割を理解することができる。

内容の相互関係や説明の展開に応じて、指示語や接続語を適切に使用することができる。

《単元の指導計画と評価規準》

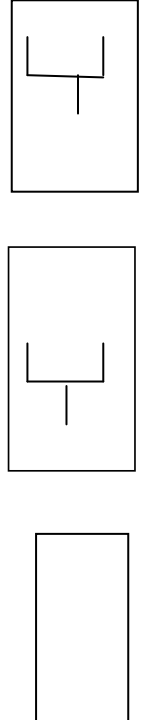
段階	時	学習活動 重要語句の取り扱い方	一人学び	国語への関心・意欲・態度
つかむ	1	単元名とリード文から学習内容を知り、全文を読んで新出漢字の読みを確かめたり、おおまかな文章の内容をつかんだりして学習計画を立てる。	形式段落に番号をふったり、おおまかな内容を予想したりする。	アップとルーズという言葉に関心を持ち、意味を確かめようとしている。
	2	文章構成を確かめ、読み取りの見通しをもつとともに、自分が図書館活用を図りながら情報の発信者になることを知る。	はじめ・中・終わりはそれぞれの段落か理由付けして考える。	文章構成を考えながら、何について書かれた文章か考えようとしている。
ふかめ	3	第1・2・3段落から、「アップ」と「ルーズ」の意味を確かめるとともに、どのような問題が提示されているか読み取る。 「どんなちがいが」「~でしょう」等に着目し、問題提示文を読み取る。	写真と文章を照らし合わせながら、文中の語句を使って、写真に題名をつける。 問題提示文を見つける。	アップとルーズという言葉に関心をもつとともに、どのような問題提示がなされているか見つけようとしている。
	4 本時	第4・5・6段落から、アップとルーズのそれぞれで伝えられることと伝えられないことや目的に応じて使い分けられていることを読み取る。 「よく分かります」「分かりません」に着目して、長所・短所を読み取る。	アップとルーズのそれぞれで伝えられることと伝えられないことを見つけ、サイドラインを引き、まとめる。	アップとルーズには、それぞれ長所と短所があることを知り、どのように使い分けられているか考えようとしている。
まとめる	5	第7・8段落から、アップとルーズは相手や目的の応じて使い分けられていることを読み取る。 「~知りたいこと」「~伝えたいこと」に着目して、筆者の考えを読み取る。	新聞では、アップとルーズの写真をどのように選択し、使っているかを読み取り、まとめる。	筆者の考えがわかり、受け手側は、何に気をつけて情報を得るとよいのか考えようとしている。
	6 7	各段落に小見出しをつけるとともに、意味段落ごとに大見出しをつけて段落構成を図にまとめる。 教材文全体の内容をまとめるとともに、読み取ったことをもとに、次時の活動内容を知る。	各段落に小見出しをつける。 教材文に書かれていた内容をまとめる。	小見出しをつけ、段落構成を図にまとめようとしている。 全体の内容と筆者の考えに関心を持ち、まとめようとしている。
ひろげる	8	「四年三組から発信します」を読み、学習の見通しをもつ。	教科書の作例が何をどのように伝えているか読み取ったり、目的や相手を考えたりする。	「四年三組から発信します」では、どのような学習活動をするのか考えようとしている。
	9	教科書作例を見て、メモと完成した作品のちがいや工夫について考える。	メモと完成した作品を比べながら、それぞれの違いや工夫を考える。	メモと完成作品の違いや工夫を知り、自分の作品に生かそうとしている。
ひろげる	10	題材について話し合い、自分たちのまとめ方のイメージをもつ。	学校や地域の中から、詳しく知りたいことや疑問を集める。	情報発信に関心を持ち、まとめ方を知らうとしている。
	11 12	取り上げる題材を決め、取材する。	題材を決め、取材する。	情報発信に関心を持ち、取材しようとしている。
ひろげる	13 14	材料を選び、記事を書いたり、割り付けをしたりする。	選材の視点にそって材料を選び、記事を書いたり、割り付けしたりする。	情報発信に関心を持ち、相手や目的に応じて、選材・記述・割付等をしようとしている。
	15 16	下書きをし、互いに読み合う。	まとめ方を考えながら、下書きしている。	伝えたいことが相手に分かるように考えて書こうとしている。
	17 18	清書して仕上げ、互いの作品のよさについて伝え合う。	推敲した部分に注意しながら、清書するとともに、他の作品のよさを見つける。	よりよい作品を作ろうと清書し、他の作品のよさをすすんで見つけようとしている。

《単元の評価規準》

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知・理・技
・対比・まとめなど、段落相互の関心に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かそうとしている。 ・相手や目的に応じ、情報の材料、選び方や表現方法が異なることに気づき、読み手に分かりやすく書こうとしている。	伝えたいことが相手に分かるように、言葉や表現を考え、見出しを立てて書こうとしている。	アップとルーズの働きについて、写真と対応させながら中心となる語や文をとらえて読んでいる。	文章全体の中で、それぞれの段落の役割を理解している。 内容の相互関係や説明の展開に応じて、指示語や接続語を適切に使用している。

評価規準			評価					
書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	N	F	M	T	I	O
	全文を通読し、おおまかな文章の内容をつかんでいる。	漢字や語句について理解している。						
	文章構成をつかみ、段落の役割をおおまかにつかんでいる。	文章全体の中で段落の役割を理解している。						
	写真と文章を対応させながら、アップとルーズの意味や問題提示文を読み取り、それぞれの段落の役割を理解している。	接続語等を手がかりに、文や段落相互の関係を理解している。						
	アップとルーズの長所・短所を読み取り、それぞれの段落の役割を理解している。	接続語等を手がかりに、文や段落相互の関係を理解している。						
	アップとルーズが目的に応じて使い分けられていることや筆者の考えを読み取っている。	接続語等を手がかりに、文や段落相互の関係を理解している。						
	各段落が文章全体の中でどんな働きをしているかをとらえている。	文章全体の中で段落の役割を理解している。						
	それぞれの段落の役割を考えながら、教材文を要約している。	文章全体の中で段落の役割を理解している。						
	「新聞記者になろう」を想起し、違いを明確にすることで、学習の見通しをもっている。	文章構成を考え、接続語を適切に使いながら段落ごとに文章にすることをつかむ。						
	メモと完成した作品との違いや工夫に気づいている。	内容の相互関係や説明の展開に応じて、指示語や接続語を適切に使用している。						
	題材選択の範囲、何を、だれに、どのように伝えるかおおまかなイメージをもっている。	内容の相互関係や説明の展開に応じて、指示語や接続語を適切に使用している。						
	目的や相手に応じて、必要な材料を集めている。	内容の相互関係や説明の展開に応じて、指示語や接続語を適切に使用している。						
	目的や相手に応じて、必要な材料を選び、記事を書いたり、割り付けしたりしている。	内容の相互関係や説明の展開に応じて、指示語や接続語を適切に使用している。						
	伝えたいことが相手に分かるような言葉や表現に考えて書いている。	内容の相互関係や説明の展開に応じて、指示語や接続語を適切に使用している。						
	伝えたいことが相手に分かるような言葉や表現をしたり、他の作品から見つけたりしている。	内容の相互関係や説明の展開に応じて、指示語や接続語を適切に使用している。						

文章構成図	終わり			中				はじめ		意味段落 形式 段落	教 材 分 析	手がかりになる 語句	重要語句
	筆者の感想	多くの食べ方が考えられるわけ	取り入れ時期や育て方を変えて食べる工夫	小さな生物の力で違う食品にする工夫	栄養を取り出して違う食品にする工夫	粉をひいて食べる工夫	いったり、煮たりする工夫	大豆に手をくわえるわけ	すがたをかえている大豆				
	大豆のよさに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされます。	大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	これらのほかに 大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	また、 大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	また、 大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	次に 大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	わたしたちの毎日の食事、大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。	大豆はいろいろなすがたで食べられています。「これは、味もよく栄養をたくさん含んでいるからです。そのうえ育てやすく多くの地域で植えられるためでもめじりす。

文章構成図	終 わ り		中		は じ め		意味段落 段落 形式	教 材 分 析	手 が かり に な る 語 句	重 要 語 句	
	アップでとるかルーズでとるか		目的におうじたアップとルーズの切りかえ		アップとルーズのちがいは何か						
	<p>テレビでも、新聞でも、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えてアップでとるか、ルーズでとるかを決めたり、とったものを選んだりしているのです。</p>		<p>写真にも、アップでとったものと、ルーズでとったものがあります。</p> <p>(新聞を見ると) それらを細め合わせたり使 取材のときは、多くの写真をとっています。 (そして)その中から目的に応じて必要なものを選んで使っています。</p>		<p>アップとルーズでは、それぞれに伝えたいことがあります。</p> <p>目的に応じてアップとルーズを切りかえながら放送をしています。</p>		<p>試合終了直後のシーンを見てみましょう。</p> <p>ルーズでとると、広いはんいの様子がよく分かります。</p> <p>各選手の顔つきや視線、それらから感じられる気持ちまでは、なかなか分かりません。</p>		画面	アップ ルーズ	アップとルーズで 伝える
	<p>アップでとったゴール直後のシーンを見てみましょう。</p> <p>ゴールを決めた選手が両手を上げて走っています。</p> <p>ユニフォームは風をならみ、口を大きく開けて、全身で喜びを表しながら走る選手の様子がよく伝わります。</p> <p>アップでとると、細かい部分の様子がよく分かります。</p> <p>走っている選手以外の、うつわていない多くの部分のことは、アップでは分かりません。</p>		<p>アップとルーズでは、どんなちがいがあるのでしょ。</p> <p>最初の画面のようには、広いはんいをとつすとり方を「ルーズ」といいます。</p> <p>次の画面のようには、ある部分を大きくうつすとり方を「アップ」といいます。</p>		<p>画面は、コート中央に立つ選手を大きくうつして出しました。</p> <p>ホイッスルと同時にボールをける選手。目はボールを見、少しきんちようした顔つき。</p> <p>選手たちはコート全体に広がり、体を動かす。観客席は、ほぼ満員。会場全体が、静かに、うつぶんをおさえて、開始待ち。</p>		画面	アップ ルーズ	アップとルーズで 伝える		

5 本時の指導

(1)目標

関 大豆をおいしく食べるくふうに興味をもち、見つけようとする。

読 大豆をおいしく食べる工夫について読み取ることができる。

(2)展開(4/7)

・指導上の留意点 関読 評価	学 習 活 動	段階	形態
<p>・ 掲示物で、なぜおいしく食べる工夫をするのか、三つのおいしくする工夫が各段落ごとにあり、それぞれの要点を読み取ればよかったことを確かめる。</p> <p>関 大豆をおいしく食べるくふうに興味をもち、見つけようとしている。(発言、音読)</p>	<p>1 前時を振り返る。</p> <p>2 学習課題を把握する。</p> <p>大豆に手をくわえ、おいしくする工夫を読み取ろう。</p>	つ か む 5 分	
	<p>3 音読する</p>		
	<p>4 一人学びの見直しをもつ。</p> <p>・ 課題解決の手がかりとして、既習事項である形式段落それぞれに「おいしくする工夫」が書かれていたこと、中心文が段落の初めに書かれていたこと、「くふう」という語句を確認する。</p> <p>5 学習課題を解決するために、一人学びをする。</p> <p>「おいしくする工夫」が書かれている文にサイドラインを引き、学習プリントに書く。</p>	ふ か め る	
<p>・ 重要語句《目に見えない～あります。》《とり入れる時期や～あります。》に着目して、おいしくする工夫を読み取らせる。</p> <p>・ 早く終わったら、わけを考える。</p> <p>読 小さな生物の力でちがう食品にしたり、取り入れ時期や育て方をくふうしたりすることを読み取っている。(学習プリント)</p> <p>目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふうもあります。とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方もあります。</p>	<p>6 課題解決のために学び合う。</p> <p>・ 発表し合う。</p> <p>・ 学習課題に対する答えを確かめる。</p>		
<p>・ 早く終わったら、要点から「小見出し」を考えさせる。「小見出し」には、中心文を活かし、接続語を抜いたり、体言止めにしたりすること確かめさせる。</p> <p>・ 大豆を育て、枝豆にして食べたり、老人クラブの方々と栽培している大豆で何をしたいか等、自分達の生活と大豆との深い関わりを確かめさせる。</p> <p>・ 形式段落「これら」の指している内容や形式段落それぞれの重要語句を確かめさせる。</p>	<p>7 「おいしくする工夫」について詳しく読み取る。</p> <p>・ それぞれの食品の作り方や食べ方について、読み取って、学習プリントに書き込む。</p>	35 分	
<p>・ 3年生自身が、今日の学習内容を確認するだけでなく、4年生に対して知らせるといった相手意識をもって発表させる。</p>	<p>8 学習のまとめをする。</p> <p>・ 「おいしくする工夫」が書かれた中心文の語と他の文の語との関わりを確かめる。</p>		
	<p>9 学習を振り返る。</p> <p>・ 自己評価をする。</p> <p>・ 今日の学習課題と解決された答えを確認する。</p> <p>10 次時の学習内容を確認する。</p>	め ま と 5 分	

(3)評価

評価規準	具体的評価規準		
	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
小さな生物の力でちがう食品にしたり、取り入れ時期や育て方をくふうしたりすることを読み取っている。	手がかりになる語句を根拠としながら、どのようなおいしく食べる工夫があるか理解している。	どのようなおいしく食べる工夫があるか理解している。	前時までの学習を想起させ、形式段落の中のどこに書かれていたか振り返ったり、手がかりになる語句を確かめたりして考えさせる。

5 本時の指導

(1)目標

関 アップとルーズには、それぞれ長所と短所があることに興味をもち、どのように使い分けられているか考えようとする。

読 アップとルーズの長所・短所を読み取るとともに、それぞれの段落の役割を理解することができる。

(2)展開(5/7)

形態	段階	学 習 活 動	・指導上の留意点 関読 評価
	つ か む 10 分	<p>1 前時を振り返る。</p> <p>2 既習事項を学習プリントによって振り返る。</p> <p>3 学習課題を把握する。</p> <p>アップとルーズの伝えられること・伝えられないことを読み取ろう。</p> <p>4 音読する。</p>	<p>・ 掲示物等で、この文章はアップとルーズのちがいについて書かれていることを確かめる。</p> <p>・ 学習プリントによって、アップとルーズの違いに目を向けさせるとともに、対比的な段落とそのまとめとしての段落の関係を確認する。</p> <p>・ 「ちがい」とは、伝えられること・伝えられないことであることを確かめる。</p> <p>・ 写真と文章の関係を確かめ、目的意識をもって、音読させる。</p>
	ふ か め る 30 分	<p>5 一人学びの見直しをもつ。</p> <p>・ 課題解決の手がかりとして、先の学習プリントから既習事項であるアップとルーズについて形式段落で対比的に記述されていることや接続語「しかし」「でも」や文末表現「よく分かる」「分からない」という語句を確認する。</p> <p>6 学習課題を解決するために一人学びをする。</p> <p>アップとルーズの伝えられること・伝えられないことにサイドラインを引き、学習プリントに書く。</p> <p>7 課題解決のために学び合う。</p> <p>・ 教科リーダーを中心に、発表し合う。</p> <p>・ 同じ意見・違う意見を聞き分けながら集約し、出された意見を黒板に書く。</p> <p>・ 学習課題に対する答えを確かめる。</p> <p>アップは、細かい部分がよく分かりますが、うつされていない多くの部分のことは分かりません。ルーズは、広いはんいの様子がよく分かりますが、各選手の顔つきや視線、気持ちまでは、分かりません。</p> <p>・ 形式段落 ととの関わりを考える。</p>	<p>関 アップとルーズには、それぞれ長所と短所があることに興味をもち、どのように使い分けられているか考えようとしている。(発言)</p> <p>・ 重要語句《細かい部分の様子》《うつされていない多くの部分》《広いはんいの様子》《各選手の～気持ち》に着目して伝えられること・伝えられないことを読み取る。</p> <p>・ 早く作業が終わったら、段落の中心文を見つけ、その役割を考えさせる。</p> <p>・ 先の学習プリントや接続語「このように」から既習事項 段落と同様の文章構成であることを確かめて手がかりにさせる。</p> <p>・ 形式段落 における目的(送り手の意図)が何か考える。</p> <p>・ 形式段落 の重要語句を確かめる。</p>
	め ま と 5 分	<p>8 学習のまとめをする。</p> <p>・ 形式段落 の関わりを文図に表しながら、確かめる。</p>	
	め ま と 5 分	<p>9 学習を振り返る。</p> <p>・ 自己評価をする。</p> <p>・ 今日の学習課題と解決された答えを確認する。</p> <p>10 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>・ 学習課題を振り返りながら、解決された課題に対する答えを確認する。</p>

評価規準	具体的評価規準		
	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
アップとルーズの長所・短所を読み取り、それぞれの段落の役割を理解している。	アップとルーズの長所・短所やそれぞれの段落の役割について接続語や文末表現を根拠にしながらか理解している。	アップとルーズの長所・短所やそれぞれの段落の役割について理解している。	前時までの学習を想起させ、接続語や文末表現に目を向けさせて、考えさせる。

(4) 板書計画

3 年

すがたをかえる大豆

大豆に手をくわえ、おいしくするくふうを読み取るう。

手がかりになる語句

- ・ さらに
- ・ くふう

これらほかに つなぎ言葉

目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふうも
あります。

なつとう

むした大豆にナットウキンをくわえ、あたたかい
場所に一日近くおいて作ります。

みそやしょうゆ

まず、むした米か麦にコウジカビをませたものを
用意します。
それと、しおを、にてつぶした大豆にくわえて
混ぜ合わせます。
ふたをして、風通しのよい暗い所に半年から一年
おいておくと、大豆はみそになります。
しょうゆも、よくにた作り方をします。

とり入れる時期や育て方をくふうした食べ方もあります。

えだ豆

ダイズを、まだわかくてやわらかいうちにとり入れ、
さやごとゆでて食べる。

もやし

ダイズのたねを、日光に当てずに水だけやって育てる。

4 年

アップとルーズで伝える

アップとルーズの伝えられること・伝えられないこと
を読み取るう。

手がかりになる語句

- ・ よく分かります
- ・ 分かりません
- ・ しかし
- ・ でも
- ・ 文末表現
- ・ 接続語

アップ直後

アップの写 真

伝えられること

- ・ 細かい部分の様子
- ・ 伝えられないこと

・ うつされていない多くの部分

試合終了直後

ルーズの写 真

伝えられること

- ・ 広いはんいの様子
- ・ 伝えられないこと

・ 各選手の顔つきや視線、気持ち

このように

をまとめている

アップとルーズには、伝えられることと、伝えられないことがあるので、テレビでは、目的におうじてアップとルーズを切りかえている。